

ひとりでは悩んでいませんか？

性犯罪・性暴力などで悩んでいる方は、少し勇気を出して、ご相談ください。

相談は無料です。秘密は必ず守ります。

○性犯罪・性暴力被害者支援窓口

相談窓口	所在地	電話番号	相談受付時間	支援内容
性暴力救援センター 日赤なごや なごみ	〒446-8650 名古屋市昭和区妙見町2-9 名古屋第二赤十字病院	052-835-0753 24時間ホットライン	24時間対応 年中無休	相談 緊急医療処置 同行支援など
ハートフルステーション・ あいち	〒491-8551 一宮市桜一丁目9-9 総合大雄会病院内	0570-064-810 (愛知県内からのみ通話可能)	月～土 9:00～20:00 (日・祝・年末年始除く)	相談 緊急医療処置など
公益社団法人 被害者サポートセンター あいち	〒460-0002 名古屋市中区丸の内二丁目 14-21	052-232-7830	月～金 10:00～16:00 (土・日・祝・年末年始除く)	相談 付添支援など

ホームレスの方への理解を深めましょう

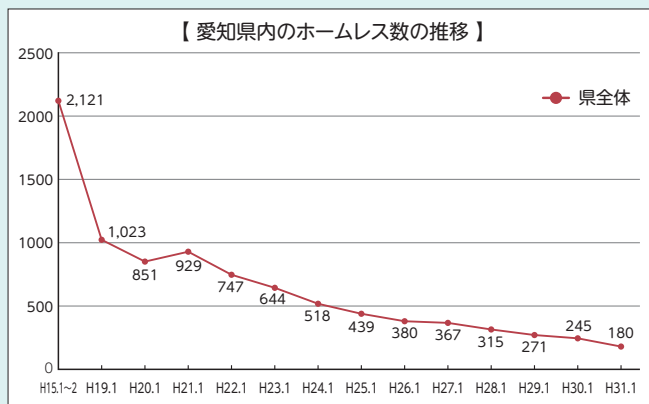
～ どうしてホームレスになってしまうのか ～

愛知県内のホームレス数は、平成31年1月の調査で180人が確認されました。これは初めて全国調査が行われた平成15年1月の調査の2,121人から1,941人の減少となっています。

現在確認されているホームレスの方の多くは名古屋市など大都市圏に偏っている一方、いくつかの市町村でも、少数ですがホームレスの方が確認されています。

どうしてホームレスになってしまうのでしょうか？その生い立ちには、幼いときに家族を失ったり、病気やけが等により仕事を失ってしまったなどの背景がある場合もあります。

そして、困難な状況になったとき、誰にも相談できないまま、社会から孤立してしまい、結果として住む場所までも失ってしまった場合があります。一度住む場所を失ってしまうと、再び元の生活を取り戻すには多くの問題を解決しなくてはなりません。



多くのホームレスの方は、ホームレス自立支援施策や生活保護などを活用し、住まいを確保し、ホームレス状態から抜け出すことができました。

しかし、それだけでは、社会から孤立している状況に変わりありません。地域や社会の中で生活を続けるためには、社会や人とのつながりを作っていくことが必要となります。

ホームレスという問題への理解を深めて、ホームレスを生まない社会にしていくためには、私たち一人一人が考えていくことが大切ではないでしょうか。地域で生活する私たちもお互いに支え合い、助け合える関係にあることがとても大切です。

そのうえで、自分の中にある偏見と向き合い、誰もが暮らしやすい社会を目指して、私たちに何ができるかを考えていきましょう。

10月は『里親月間』です！ ～里親になりませんか？～

里親制度は社会がみんなで子どもたちを見守り、育てていく、子どもたちのための制度です。

愛知県では、保護者の病気や離婚、虐待など様々な事情により、自分の家庭生活できない子どもたちを必要な期間、温かい家庭的な雰囲気の中で養育していただく方々を募集しています。

～啓発のご案内～ ○2019年度 里親体験発表会の予定(10月までの開催を掲載)

日 時	場 所
7月28日(日) 10時30分～	東三河県庁 2階大会議室
8月 7日(水) 10時30分～	みよし市役所 3階研修室
9月26日(木) 10時30分～	春日井市総合福祉センター 小ホール
10月27日(日) 10時30分～	岡崎げんき館 講堂



里親制度、今後の啓発予定の詳細については、愛知県児童相談センター子ども相談WEBページを御覧ください。お電話での問い合わせについては、児童相談所全国共通ダイヤル「189」までご連絡下さい。お近くの児童相談センターへ繋がります。

